

問1 リットン調査団の報告書により建国が否定され、国際的な承認が得られなかった国を何という？

1. 日本帝国 2. 大韓帝国 3. 中華民国 4. 満州国

問2 1932年、海軍の青年将校らによって内閣総理大臣の犬養毅が暗殺された事件を何という？

1. 二・二六事件 2. 五・一五事件 3. 満州事変 4. 北清事変

問3 第一次世界大戦後のイタリアで台頭した、議会制民主主義を否定し、独裁的な力による支配を強めた政治運動を何という？

1. ファシズム 2. 共産主義 3. 民主主義 4. 社会主義

問4 1930年代のアメリカで、公共事業による雇用創出や経済改革を断行した大統領は誰？

1. トルーマン 2. ウィルソン 3. ルーズベルト 4. アイゼンハワー

問5 国際連盟脱退後、日本が接近していったヨーロッパの国を何という？

1. イタリア 2. ドイツ 3. 日本 4. ソ連

問6 国家総動員法が制定されるきっかけとなった、1937年から続く戦争を何という？

1. 日露戦争 2. 満州事変 3. 日中戦争 4. 太平洋戦争

問7 国家の予算のうち、軍隊の維持や兵器の購入など、軍事目的で使われる費用のことを何といいますか？

1. 公債費 2. 教育費 3. 社会保障費 4. 軍事費

問8 1932年、海軍の青年将校らが犬養毅首相を暗殺し、政党政治を終焉させた事件を何という？

1. 二・二六事件 2. 血盟団事件 3. 五・一五事件 4. 桜田門外の変

問9 1929年、ニューヨーク株式市場で株価が暴落し、世界恐慌の直接の引き金となった国はどこ？

1. アメリカ 2. フランス 3. ドイツ 4. イギリス

問10 第二次世界大戦中、日本がドイツとともに結び、枢軸国として連合国と対立するきっかけとなった同盟を何という？

1. ワシントン海軍軍縮条約 2. 英日同盟 3. 日独伊三国同盟 4. 日露協約

問11 満州事変後、国際連盟が事実関係を調査するために派遣した団体を何という？

1. 国際連盟総会 2. 常任理事国 3. 国際連盟理事会 4. リットン調査団

問12 政府が市場経済の調整や失業対策などの目的で、国民の経済活動に対して積極的に関与することを何という？

1. 自由競争 2. 放任 3. 介入 4. 市場開放

問13 1927年に銀行の経営不安が広まった際、預金者が一斉に預金を引き出そうと銀行に殺到し、混乱が広がった現象を何という？

1. ストライキ 2. ハイパーインフレ 3. 取り付け騒ぎ 4. 米騒動

問14 広島に投下され、一瞬にして都市を壊滅させ甚大な被害をもたらした兵器を何という？

1. 原子爆弾 2. 焼夷弾 3. 化学兵器 4. 細菌兵器

問15 第一次世界大戦後、アメリカの提唱で開かれた、海軍主力艦の保有制限を話し合った会議を何という？

1. ワシントン会議 2. 四カ国条約 3. ロンドン海軍軍縮会議 4. ジュネーブ海軍軍縮会議

問16 1932年の五・一五事件で暗殺された、当時の首相は誰？

1. 斎藤実 2. 犬養毅 3. 浜口雄幸 4. 高橋是清

答え合わせ・解説

問1	答え 4 満州国	1932年、日本の主導によって設立された国家です。しかし、国際連盟の調査団（リットン調査団）は、これが日本による侵略の産物であるとして承認しませんでした。
問2	答え 2 五・一五事件	1932年5月15日、海軍の青年将校や陸軍の士官候補生が首相官邸や警視庁などを襲撃しました。犬養毅首相は銃撃を受け、死亡しました。この事件は、軍部が武力を使って政治に直接介入しようとした危険な動きでした。
問3	答え 1 ファシズム	ムッソリーニが率いるファシスト党が権力を握り、議会制民主主義を否定して、独裁的な体制を築きました。国民の団結を強制し、国家の利益を何よりも優先するこの思想は「ファシズム」と呼ばれました。
問4	答え 3 ルーズベルト	従来の「経済は自由放任が良い」という考えを転換し、政府が大規模な公共事業を実施して雇用を創出する「ニューディール政策」を断行しました。農業や金融の立て直しも図り、恐慌からの脱出を目指しました。
問5	答え 2 ドイツ	当時のドイツでは、ヒトラー率いるナチスが政権を握り、既存の国際秩序を否定して軍備を拡大していました。同様の立場の日本は、1936年に日独防共協定を結ぶなど、ドイツとの結びつきを強めました。
問6	答え 3 日中戦争	この衝突をきっかけに始まったのが日中戦争です。日本軍は中国の内陸部まで侵攻しましたが、中国側の抵抗も激しく、戦争は長期化しました。
問7	答え 4 軍事費	当時の政府は、中国での勢力拡大や国際的な孤立に対応するため、軍事費を大幅に増やしました。予算の多くが戦争のための兵器や人員に充てられたため、国民生活は圧迫され、必要な物資が不足するなど苦しい状況が生まれました。
問8	答え 3 五・一五事件	1932年5月15日、海軍の青年将校らが首相官邸などを襲撃し、時の首相である犬養毅を射殺しました。計画的な襲撃により政党政治に対する信頼は失われ、その後は軍部の影響力が政治の世界で非常に強くなっていきました。
問9	答え 1 アメリカ	1929年10月、ニューヨークのウォール街で株価が急激に大暴落し、多くの銀行が倒産しました。これによりアメリカ経済は麻痺し、世界中に資金を貸し出していたアメリカが貸付を引き揚げたことで、不況が世界中に飛び火しました。
問10	答え 3 日独伊三国同盟	1940年9月、日本・ドイツ・イタリアの3国間で結ばれた軍事同盟です。これにより、これら3国は「枢軸国」と呼ばれ、アメリカやイギリスなどの「連合国」と対立する構図が決定づけられました。
問11	答え 4 リットン調査団	イギリスのリットンを団長とする調査団が派遣されました。数ヶ月にわたる調査の結果、1932年に出された報告書では、満州国の独立は日本の軍事力によって強行されたものだとし、日本の行動を侵略と批判しました。また、満州から撤兵し、日本の権益を認めつつ中国の主権を尊重することを勧告しました。
問12	答え 3 介入	政府が「介入」を行うことで、公共事業を増やして雇用を生み出したり、労働条件を改善したりして購買力を高めました。特にアメリカのニューディール政策が代表的で、それまでの「市場に任せる」という方針からの大きな転換点となりました。
問13	答え 3 取り付け騒ぎ	1927年、大蔵大臣の失言が引き金となり、銀行の経営に対する不信感が高まりました。これによって預金者が銀行に殺到する取り付け騒ぎが全国で発生し、金融システムが麻痺しました。
問14	答え 1 原子爆弾	原子爆弾は、ウランやプルトニウムの核分裂反応を利用した兵器で、爆風、熱線、放射線により一瞬にして都市を壊滅させます。1945年8月に広島と長崎へ投下されました。
問15	答え 1 ワシントン会議	1921年から翌年にかけてアメリカのワシントンで開かれました。日・米・英・仏・伊などの主要国が参加し、主力艦の保有比率を制限することを決定しました。これにより軍備競争が一時的に抑制されました。
問16	答え 2 犬養毅	犬養毅は当時の首相として軍部の暴走を抑えようとしたのですが、1932年5月15日、武装した海軍の青年将校らが首相官邸に乱入し、犬養毅は銃撃を受けて死亡しました。この事件は政党の代表が国民に選ばれて首相になるという、いわゆる「憲政の常道」が崩れる決定的な出来事となりました。